

平成27年度 鳥取大学地域学部入学試験問題

(推薦入試Ⅰ)

# 小論文

(地域学部 地域政策学科)

(注意)

1. 問題冊子は、指示があるまで開かないこと。
2. 問題は3ページ、解答用紙は2枚、下書用紙は2枚である。  
指示があってから確認すること。
3. 解答は解答用紙（横書き）に記入すること。
4. 下書、メモ等を試みる場合は、下書用紙又は問題冊子の余白を利用してよい。
5. 解答用紙を持ち帰ってはならないが、問題冊子及び下書用紙は必ず持ち帰ること。

次の文章は、「平成の大合併」により広域化した宮城県石巻市における震災対応を事例として、  
応急対応段階、復旧段階、復興段階の三つのフェーズに着目し、市町村合併が防災に負の影響を  
もたらしたと指摘する著書の一部です。この文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

この部分につきましては、著作権の関係上、HPで公開しておりません。

この部分につきましては、著作権の関係上、HPで公開しておりません。

出典：室崎益輝・幸田雅治編著『市町村合併による防災力空洞化』ミネルヴァ書房、2013年

【問1】

石巻市の震災対応を通して、合併後の政治行政システムがいかなる問題点を生じさせたか課題文では述べられていますか。筆者の見解を300字以内で整理しなさい。

【問2】

課題文を踏まえて、合併で広域化した地域における地域づくり、もしくは災害に強いまちづくりを行っていくうえで、あなたならどのような立場から、具体的にどう貢献したいと考えますか。800字以内でまとめなさい。